



よしだつうしん

吉田通信

第70号
【2020年7月】

〒950-1475 新潟県新潟市南区戸頭1347-1 TEL:025-372-1138 FAX:025-372-1155

■■この吉田通信は私とご縁のあった方、ご縁をいただきたい方に差し上げている月一人通信です■■

◆一日も早い終息を願い…◆

こんにちは。お世話になります。吉運堂の吉田竹史です。吉田通信第70号をお送りいたします。よろしくお願いいたします。

さて、新型コロナウイルスの新規感染者数が、6月には全国的に落ち着いてきたと思っていたところ、7月に入って東京で3桁を記録し、そこから地方へと広がっている感じもあり、完全な終息は、まだまだ遠いのかもかもしれないと感じております。今回は、そういった状況の中で、一日も早い終息を願い、吉運堂として、取り組んでいること、取り組んだことについて、ご紹介いたします。

まず、現在も取り組んでいるのが、ブルーライトの点灯です。最前線で昼夜を問わず働いてくださっている医療従事者の方をはじめ、社会活動の維持に尽力いただいているすべての方への感謝の思いを表そうと、ブルーライトアップの動きが世界各地で広がりました。吉運堂でもこの取り組みに賛同し、医療関係者の方々に感謝の意を示し応援するため、新潟市南区にあるサルナート吉運堂ビル（白根本店）屋上サインにて、5月2日（土）より現在もなお、「医療関係者等応援ライトアップ」を行っております。



↑ブルーライトを点灯

次に、取り組んだことは、不織布マスク4,000枚とフェイスシールド100枚の鶴岡市への寄贈。4月中旬、当社の社員1名が新型コロナウイルス感染症に罹患いたしました。その際に、医療関係者の方々に大変お世話になり、その感謝の気持ちを込めてマスクとフェイスシールドを寄贈させていただきました。吉運堂鶴岡店の佐野正克店長と、酒田店の佐藤広喜店長出席のもと、5月26日（火）鶴岡市役所で贈呈式が行われ、対応していただいた鶴岡市市民部の五十嵐



↑鶴岡市役所にて贈呈式

浩一部長からは「まだまだマスクが不足している施設があり、医療機関以外の介護施設などでも活用させていただきたい」とのお言葉がありました。

皆様同様、吉運堂社員一同、一日も早い新型コロナウイルス感染症の終息を願っております。

◆発行者コラム◆

今回もまた、最後までお読みいただきまして、誠にありがとうございます。我が家の娘と息子は今、大学生です。コロナで学校が開いていないため、オンライン授業です。まだまだ頭も柔らかく、オンラインでも難くこなしております。ちょっと不憫なのが息子。今年、大学1年生で大学生活を謳歌できるはずが、学校に行けないため、大学で友だちも作れず、大学生ならではの遊びもできず、結果、未だに高校時代の友だちと親交を深めています。それもまた良し。吉田竹史

■吉田通信を今後ご希望されない方は、大変お手数ですが090-3339-0424までご連絡をお願いいたします。■

【発行者プロフィール】

名前：吉田 竹史（よしだ たけし）
生年月日：昭和40年8月21日（O型）
出身地：新潟県白根市（現・新潟市南区）
経歴：都内の学校を卒業後、証券会社（水戸 & ニューヨーク）の4年間の勤務を経て吉運堂へ。

趣味：上手くないゴルフ、強くない将棋
（NHKの将棋対局を見ることは好きです）
家族構成：妻、娘、息子



吉田 竹史